

公募・審査プロセスでの学びの共有

2022年10月18日

認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
理事 PO 渋谷雅人

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

事業設計・計画の精度向上

- ロジックモデル
- エコマップ
- 事業計画書の壁打ち

事業内容の正しい理解

- 3年後のゴール・状態を具体的に提示
- 説明会の動画をHPで公開
- 2次審査前に解説動画送付

プレゼン+PO現地訪問面談

- PO2名、2週間で7県7団体
- 共通質問事項+外部審査員からの質問
- 選考シート

外部審査員依頼・事業の説明・審査方法決定

外部審査員

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

休眠預金事業・通常枠

「こども食堂をハブとした
地域資源の循環促進事業」
公募要領

説明会 12月16日(木) 締切 1月16日(日)

2021年度休眠預金事業・通常枠

こども食堂をハブとした地域の資源循環促進事業
-多世代がつながり子どもを見守るまちづくりを目指して-



<https://musubie.org/news/4482/>

公募要項

事前説明会

勉強会

相談会

1次審査
事務局書類

2次審査

3次審査
審査員会議

採択

12/13

12/16

12/21

1/5・8・11

1/16～31

2/20～3/6

3/19

3/下旬

2021-12-13

【お知らせ】2021年度休眠預金事業通常枠「こども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業」公募要項（締切1/16）

中長期的なゴール・成果/2030年頃

抜粋

- ・事業対象領域において、子どもを真ん中においた多世代交流の拠点が小学校区に1箇所以上ある状態が実現している。
- ・居場所同士の連携（情報や支援等）が進み、子どもや子育て世帯を中心に、高齢者の孤立など複雑な社会課題の予防や早期発見、対応ができる「誰も取り残さない」地域コミュニティが生まれている。
- ・同時に、個人からNPO、専門機関、行政等がそれぞれの役割を発揮し、対話が生まれ、その地域に好ましいあり方に変化している。

公募要項

事前説明会

勉強会

相談会

1次審査
事務局書類

2次審査

3次審査
審査員会議

採択

12/13

12/16

12/21

1/5・8・11

1/16～31

2/20～3/6

3/19

3/下旬

短期的なゴール・成果/助成終了時2025年

抜粋

助成・支援する実行団体を通じて、実現したいゴール・成果を現状以下のように考えています。申請にあたっては、実行団体の特性、知見や地域資源を活かした独自の提案を歓迎します。

ゴール

・地域ネットワーク団体を通じて、その対象地域のこども食堂が、学校、社協、他地域の居場所等と連携し、課題を抱えた子や子育て世帯、単身高齢者などが居場所により繋がれるよう促し、居場所参加者が、安心・安全を実感できるようになる・対象地域のこども食堂において利用者が、必要に応じて、サービスがコーディネートされ、困りごとの解決に繋がる

・地域ネットワーク団体を通じて、居場所マップができ、地域住民が、地域の居場所を知れるようになる。支援する地域の大きさや人口相応数のこども食堂が整備され、その存在が地域住民に認知される・子育て世代や高齢者が「こども食堂」を多世代交流を目的とする社会参加の場であることを認知でき、自宅や学校以外に安心して過ごし、社会参加できる地域の居場所として繋がる

状態

・利用者が安心、安全に利用ができている・こども食堂で利用者の必要に応じたサービスがコーディネートされている

・住民に認知され、利用が増える・連携して広報できる体制ができている・こども食堂を社会参加の場と認知され活用されている

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

**1次審査
事務局書類**

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

**3次審査
審査員会議**

3/19

採択

3/下旬

抜粋

・地域ネットワーク団体が地域の多様なリソース（行政、スーパー、農家、学校、PTA、大学、地元企業、NPO等）との繋がりを働きかけることで、正しい認知がなされ、継続するための仕組み化がなされる。・行政、事業者、大学等地域との繋がりが生まれ、民民連携、官民連携が創出される。・事業者が、こども食堂を正しく理解し、支援をする。また、事業者自らが支援を呼びかけ、その支援の輪が広がる。・行政、行政関連機関、社会福祉協議会が、市域の関係機関にこども食堂の啓発や支援を働きかけ、県域一市域での連携と支援の裾野が広がる。

・地域ネットワーク団体が、個々のこども食堂の取り組み事例やノウハウを把握し、地域で顔が見える情報連携が進展することで、頑張ろうという気持ちが生み出され、継続しやすくなる。

・地域ネットワーク団体が、地域防災に関する学び、連携の機会を得、それを通じて、地域ネットワーク団体がつながるこども食堂が、防災力を向上させ、地域の安心・安全実現の主体となる。そして、万が一の災害時には、食材等支援を届け、寄り添い支援を行う。

・地域の実情、特色、リソースにあったこども食堂が生まれる・事業者、自治体等が資金的支援をする仕組みが構築されている・地域のさまざまな潜在的支援者と繋がり、その地域に適した継続運営の仕組みが構築されている・地域ネットワーク自体が安定した運営ができ、実現したい地域に向けた計画を常にバージョンアップ出来ている

・運営者が安心、安全にこども食堂を運営出来ている・こども食堂の新しい担い手からの相談が常にある・箇所数が増加している

・防災に関して学ぶ機会が増加している・防災会議、勉強会への参加人数増加している・安心、安全な地域への取り組みが積極的になっている

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

- ・後日、むすびえHPに動画を掲載します。ご参加できない場合は、動画をご覧ください。



2021年度休眠預金事業通常枠「こども食堂を...

「こども食堂をハブとした
地域資源の環境促進事業」
公募要領

説明会

12月16日(木)

締切

1月16日(日)

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬



むすびえ・2021年度休眠預金通常枠の助成対象事業 オンライン事業計画の立て方勉強会

「こども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業」
ー多世代がつながり子どもを見守るまちづくりを目指してー

12月21日（火） 14：00～15：00

説明会資料

公募要項

事前説明会

勉強会

相談会

1次審査
事務局書類

2次審査

3次審査
審査員会議

採択

12/13

12/16

12/21

1/5・8・11

1/16～31

2/20～3/6

3/19

3/下旬

ロジックモデル

- ❑ 事業計画書
フォームの項目
の一覧化
- ❑ 団体内部関係者
で共有促進



公募要項

事前説明会

勉強会

相談会

1次審査
事務局書類

2次審査

3次審査
審査員会議

採択

12/13

12/16

12/21

1/5・8・11

1/16～31

2/20～3/6

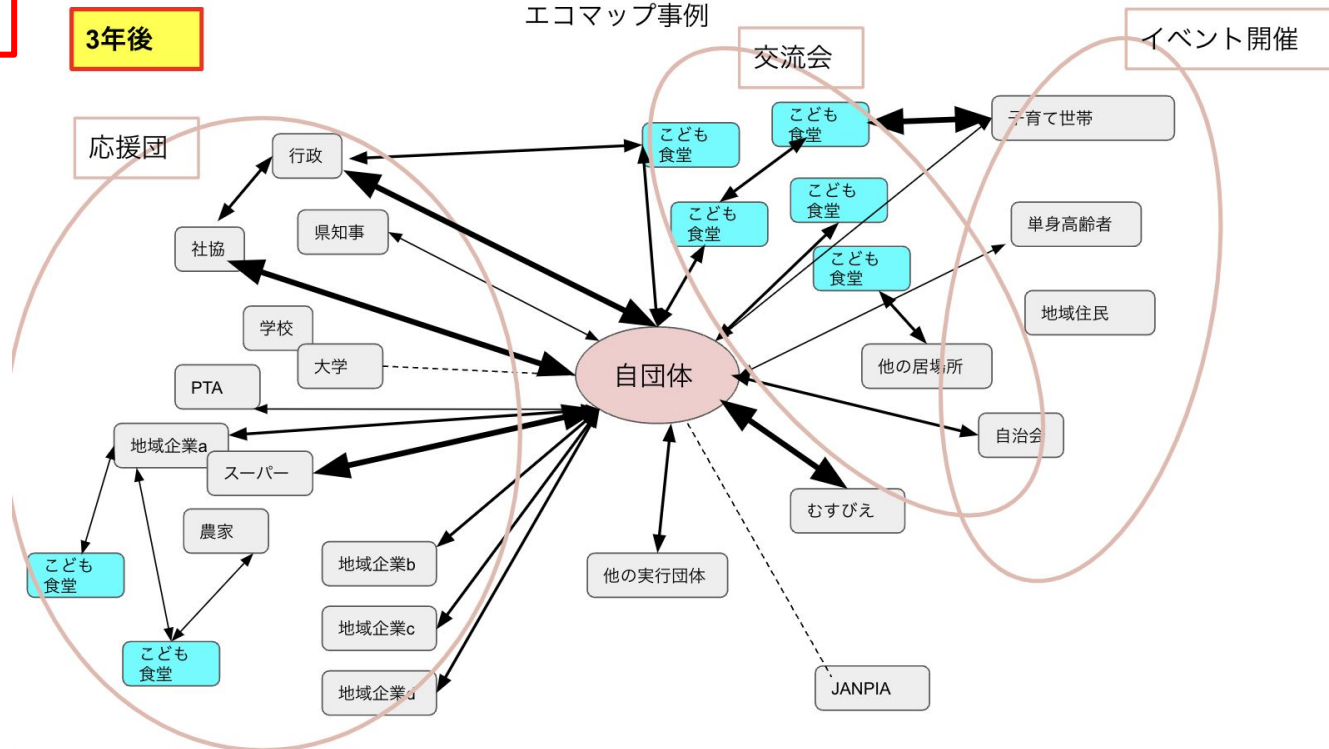
3/19

3/下旬

エコマップ

3年後

エコマップ事例



公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

		関係性（→良い状態）				
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
関係者	行政	例) 対立	例) 後援・参加	例) 連携	例) 協力	例) 協働
	社協	例) 理解・賛同	例) 協力	例) 参加	例) 支援	例) 継続支援
	地域企業					
	学校					
	自治会					
	地域住民					

- ①関係者とどんな関係性のレベルがありますか？
- ②今はどのレベルですか？
- ③3年後はどのレベルになっていますか？

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

勉強会・相談会日程について

補足説明（以下、公募要項から抜粋）

- オンライン事業計画の立て方勉強会：

12月21日（火）14：00～15：00

**ぜひ、この機会を
活用してください！**

- オンラインOPEN相談会：

12月21日（火）15：00～18：00 12月22日（水）13：00～16：00

・申込URL：<https://forms.gle/nX6NtdnForgxu8ZR6>

- オンライン個別相談会：

1月5日（水）17：00～19：00 1月8日（土）15：00～17：00

・申込URL：<https://forms.gle/oECrR3rQu2DJVceh9>

- オンライン直前相談会：1月11日（火）14：00～17：00

・申込URL：<https://forms.gle/JbDioAfRHZengqHH7>

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

●審査：

一次審査：1月末 事務局書類審査

二次審査：2月20日（日）9：30-17：00 オンラインプレゼン審査

2月21日（月）～3月6日（日） 現地訪問もしくはオンライン面接

三次審査：3月19日（土）委員審査

採択結果のご連絡：3月下旬（予定）

抜粋

- ・選考は、公平で公正な選考を行うため、第三者の外部有識者・専門家等から構成される審査会議において内定を確定します。
- ・オンラインプレゼン審査では、選考基準についてご説明ください。（プレゼン時間 15分、PPT 15枚以内）
- ・応募書類の確認のため、現地訪問をさせていただく場合があります。日程調整等のご協力をお願いいたします。・審査結果は、メールにて通知します。文書での通知は行いません。

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬



原則PO2人で7県7団体訪問

公募要項

12/13

事前説明会

12/16

勉強会

12/21

相談会

1/5・8・11

1次審査
事務局書類

1/16～31

2次審査

2/20～3/6

3次審査
審査員会議

3/19

採択

3/下旬

質問事項(下記共通項目＋審査員からの追加質問)

動機・想い

- なんでこの休眠預金事業に手を上げたのか？
- 今回の事業と同様のゴールを目指して他の助成申請などもしているor今後される予定はありますか？（本気でこの山に登ることにコミットしているのか？）

体制状況

- 組織内部の巻き込みについての状況（バイネームレベルの確認）、課題認識は？
- 組織外部・ステイクホルダーの巻き込み状況、課題認識は？
- 市町村領域との接続体制、役割分担、現在の関係は？
- 市町村領域でのネットワーク作りを進めるための具体的な仕掛けは？

事業への見通し

- この事業に取り組むに当たって貴団体の最大の強み、弱みは？
- 実現していく上で何を1番の課題、大きな壁と現時点で認識されているか？
- 自己資金に対する見通しは？その根拠は？

伴走イメージ

- むすびえにどんな伴走を期待されているか？
- ファンドレイジングスクール学習を予定しているが、誰が行くか？
- むすびえ・実行団体ともにイコールパートナーで3年ありたい中、どういう役割を果たせそうか、果たしたいか？

公募要項

事前説明会

勉強会

相談会

1次審査
事務局書類

2次審査

3次審査
審査員会議

採択

12/13

12/16

12/21

1/5・8・11

1/16～31

2/20～3/6

3/19

3/下旬

No	申請団体	視座	ガバナンス・コンプライアンス	事業の妥当性	実行可能性	継続性	先駆性（革新性）	波及効果	連携と対話	合計選考点 （〇〇審査員）	合計点数 （全審査員）	点数順位
1			AA	A	B	C	D	AA	A	16	#REF!	
			3.5	3	2	1	0	3.5	3			
2			D	C	B	A	AA	B	C	12.5	#REF!	
			0	1	2	3	3.5	2	1			
3												
4												
5												

・基本的選定基準

ガバナンス・コンプライアンス	事業計画書に示す事業を適確かつ公正に実施し、ガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	社会状況や課題の問題構造の把握が十分に設定した事業課題に対し、事業設計、事業計画が妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的に実現的か
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながる事が期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

抜粋